



令和6年度 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修

【第5期・2年目】

開催要項

- 1 目的** 本会では、災害ボランティアセンター（以下、災害VC）の担い手となる社協職員を対象に、専門的な知識・技術・経験知を備えた人材である「災害VC中核スタッフ（以下、中核スタッフ）」を養成しています。中核スタッフには、主に「①災害VCの中核を担い、広域支援の連絡調整や復興プロセスまでのアドバイス等を行う役割」、「②大規模災害発生時に現場へ赴き、地元社協・災害VCの運営支援にあたる役割」、「③平時の各地域での防災・減災活動に関する研修の講師・ファシリテーターや局内の災害時対応体制の整備を主体的に進めるスーパーバイザーとしての役割」の3つの役割があります。本研修は、災害を「我が事」として考えることができ、3つの役割を理解した中核スタッフを養成することを目的に開催します。
- 2 主催** 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会
(愛媛県ボランティア・市民活動センター 災害支援プロジェクト委員会)
- 3 日時** 【1日目】令和6年9月4日(水) 10:30～17:00
【2日目】令和6年9月5日(木) 9:30～16:00
- 4 会場** 松前総合文化センター 2階「ふるさと学習室」(松前町大字筒井633番地)
- 5 対象** 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修 第5期生(1年目修了者)
- 6 参加費** 無料
- 7 内容** 「プログラム」のとおり
- 8 参加方法** 別添「参加連絡票」と別紙「事前課題」に必要事項をご記入の上、下記事務局へメールで申込みください。**(申込締切：令和6年8月26日(月))**
- 9 連絡事項**
 - (1) 会場の駐車場には限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。
 - (2) 昼食、宿泊等が必要な場合は、各自で手配してください。
 - (3) 参加申込書で取得した個人情報については、その取扱いに十分注意し、本事業の参加者管理及び資料への掲載以外の目的では使用いたしません。
- 10 交流会** 1日目(9月4日)の研修終了後、18時30分から別会場にて講師を交えた情報交換会を開催します。参加の有無については、「参加連絡票」にご記入ください。参加を希望される方には、後日、会場や会費をお知らせします。(会場は松山市中心街、会費は5,000円程度と考えています。)
- 11 事務局** 愛媛県ボランティア・市民活動センター(担当：葛本)
愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課内
〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号
TEL 089-921-8912 FAX 089-993-7738

【参考】 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修 概要

市町災害ボランティアセンターの担い手となる市町社協職員を対象に、下記のような役割を担うため、専門的な心構えや経験知を備えた人材＝「災害ボランティアセンター中核スタッフ」を養成しています。

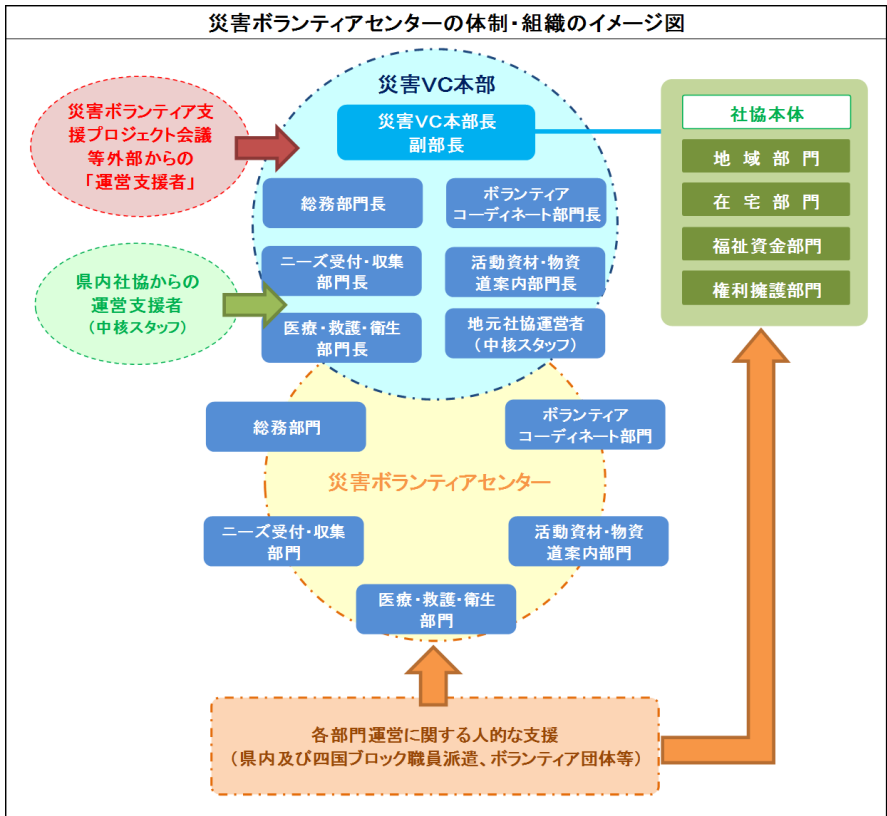
役割 1
市町災害ボランティアセンター設置・運営の中核を担い、大規模災害時には県災害ボランティアセンターと連携し、広域支援の連絡調整や被災地のプログラム開発、復興プロセスまでのアドバイス等を行う災害ボランティアセンター中核スタッフとしての役割。

役割 2
近隣の市町において大規模な災害が発生した際に現場へ赴き、地元社協災害ボランティアセンターの運営支援にあたる役割。

役割 3
平時における各地域での防災・減災活動に関する研修の講師・ファシリテーターや、局内の災害時対応体制の整備を主体的に進めるスーパーバイザーとしての役割。

災害時を想定した取り組みや仕組みづくりを考えることは、平時における個別支援の視点や地域づくりのスキルも求められるため、コミュニティソーシャルワーク実践者としてのスキルアップにもつながります。

災害ボランティアセンター全体を見渡し、その運営や活動の方向性について、地元社協と一緒に考えて考え、アドバイスをしていく役割であり、災害ボランティアセンターの1つのセクションに配置されるスタッフとは別の立場になります。(下記図参照)



交通アクセス



拡大



令和 6 年度 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修 プログラム

【1日目】9月4日(水)

時 間	分	内 容
10 : 00~10 : 30	30	受 付
10 : 30~10 : 40	10	開 会・オリエンテーション 【挨拶】 愛媛県ボランティア・市民活動センター 災害支援プロジェクト委員会
10 : 40~10 : 50	10	講義 I 「1年目の振り返り」 【講師】 愛媛県ボランティア・市民活動センター 災害支援プロジェクト委員 富田 鎮圭 (鬼北町社会福祉協議会)
10 : 50~12 : 50	120	実践報告 I 「令和 6 年能登半島地震支援について」 ① 志賀町・珠洲市など現地支援を通じて感じたこと ② 南海トラフ等に備えて愛媛県で取り組んでおきたいこと 【報告】 現地支援者全員 (※留守を守った側からも発言があれば) 【コーディネーター】 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦 氏 【助言者】 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEELDo 代表 栗原 英文 氏
12 : 50~13 : 50	60	昼食休憩
13 : 50~15 : 20	90	演習 I 「各社協・地域での取り組みについて」 ※事前課題を持ち寄っての検討 ①地域防災計画における社協の位置づけについて ②キーパーソンの洗い出し ③要援護者名簿の活用状況と個別避難計画について ④見守りや生活支援体制の状況把握 ⑤その他、防災と福祉に関して取り組んでいる事 【コーディネーター】 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦 氏
15 : 20~15 : 30	10	休 憩
15 : 30~17 : 00	90	実践報告 II 「連携・協働の地盤づくり」 各機関・企業・団体における平時と発災時の取組み紹介 【報告】 天理教災害救援ひのきしん隊 愛媛教区隊長 加藤 和哉 氏 株式会社ダイナム 愛媛宇和島店長 山中 健太郎 氏 愛媛大洲店長 横山 賢士 氏 地域共生担当 永田 善文 氏 愛媛DWA T 別府 未知 氏 (今治市地域包括支援センター北郷・大西・菊間) 【コーディネーター】 愛媛県ボランティア・市民活動センター 災害支援プロジェクト委員 澤上 幸子 (特定非営利活動法人えひめ311)
17 : 00~18 : 30		移 動 ・ 休 憩
19 : 00	-	交流会 (松山市内)

令和 6 年度 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修 プログラム

【2日目】 9月5日 (木)

時 間	分	内 容
9 : 00 ~ 9 : 30	30	受 付
9 : 30 ~ 11 : 10	100	演習Ⅱ「県内支援団体の洗い出し」 どんな組織、団体、企業にどんなことに関わってもらおうと良いか。 【コーディネーター】 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEELDo 代表 栗原 英文 氏
11 : 10 ~ 11 : 20	10	休 憩
11 : 20 ~ 12 : 20	60	講義Ⅱ「ICTも活用した災害ボランティアセンター運営」 ① ICT活用による運営の効率化について ② 運営側及びボランティア側の活動負担の軽減について 【講師】 合同会社HUGKUMI (ハグクミ) 代表社員 長井 一浩 氏
12 : 20 ~ 13 : 20	60	昼食休憩
13 : 20 ~ 14 : 50	90	実践報告Ⅲ「災害にも強い地域づくり」 ① 防災士として地域とどう関わるのか ② 個別避難計画について 【報告】 八幡浜市白浜地区自主防災会 防災士部長 的場 光江 氏 東温市社会福祉協議会 主事 渡邊 正子 氏 【コーディネーター】 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦 氏
14 : 50 ~ 15 : 00	10	休 憩
15 : 00 ~ 16 : 00	60	研修の振り返り 本研修で学んだこと、もっと学びたいこと、これからやっていきたいこと等 【進行】 愛媛県ボランティア・市民活動センター 災害支援プロジェクト委員会 災害支援プロジェクト委員 福田 広寿 (上島町社会福祉協議会) 【サポート】 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦 氏
16 : 00	-	閉 会

※上記の日程は急きょ変更となる場合もありますのでご了承ください。